R8年1月度：定例会「相原郷諏訪社探訪＆新年会」

R8年１月13日（火）　10：15　～　14：00

☆行　　程　　　相原郷公会堂前(10:15)　～　相原郷諏訪社本殿と境内社の参拝・見学　～

境内の鎌倉古道散策　　～　新年会　：　木曽路鴻仏目店

＊R8年(2026)の活動は、昔から地域で親しまれている神社「緑区相原郷諏訪社」からのスタートです。連日厳しい寒さが続いていますが、今日は少し和らぎ、大勢の方が元気に参加されました。(24名参加)
相原郷諏訪社は、正確な年代は不詳ですが、一説には鎌倉時代から室町時代にかけての創建と伝わり、地域の歴史と深く結びついた由緒ある神社です。近くに住んでいても「初めて！」の方も見え、散策を楽しみました。
午年にちなんで、皆さんの健康と共に、「思いや願い」が“うまく”叶いますようにと祈りました。

緑区相原郷諏訪社

諏訪社は参道と石段を登った先に社殿があり、静かな森や緑に囲まれた境内は昔ながらの雰囲気が残っています。社殿は尾張地方の伝統的な神社建築の様式が感じられる造りです。又、鎌倉古道所縁の歴史を感じることができます。

古代から中世～熊野信仰から諏訪信仰への変遷

・創建の背景：元々は近くの「神ノ倉(かみのくら)」にある熊野社がこの地域の氏神でした。しかし、鎌倉幕府が成立して武士の力が強まると、戦いの神として名高い信州の「諏訪大明神」への信仰が急速に広まりました。

・勧請の経緯：そのため、諏訪上社の祭神である「建御名方神」をこの地に勧請しました。その際、元々の氏神であった熊野社は神ノ倉へ移され、諏訪社が相原郷の新たな中心的な守り神となりました。

境内社(末社)

- 八幡社・山神社・神明社・金刀比羅社・秋葉社・稲荷社・津島社
- 熊野社(※後世に再合祀された可能性あり)
- 智明神社(春祭りの際に祭典が行われる)

多くの境内社は街道利用者・商人・農民・武士　それぞれの信仰が集積した結果と考えられます。

郷土の歴史を楽しむ会

R8年1月度定例会「緑区相原郷諏訪社探訪＆新年会」

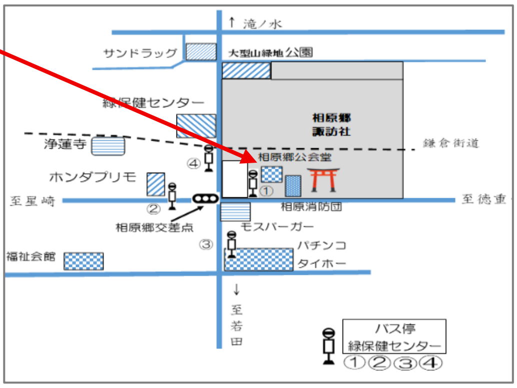
令和８年１月度の活動を企画しました。気軽にご参加ください。

“輪（わ）・和（わ）・笑（わ）”を大切に、楽しい同好会にしていきたいものです…

☆日　　時　：　令和８年１月１３日（火）　10：15～14：00

☆集　　合　：　相原郷公会堂前　10：15

市バス停：「緑保健センター」隣

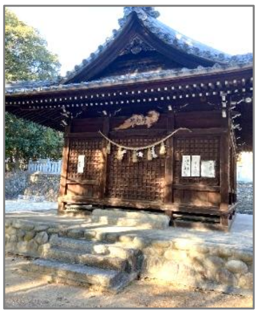


☆行　　程　：　緑区相原郷諏訪社本殿や境内社・鎌倉街道他散策　10：15～11：40

新年会：散策終了後に移動　　（木曾路鴻仏目店）12：15～14：00

※R8年度の活動についての意見交換（アンケート用紙配布）

※費　　用　：　資料代100円

木曽路会食代　：「妻籠＋乾杯ドリンク」2,900円（税込み）　計3,000円

・参加入力締め切り　：　R7年12月31日